

佐呂間町弘報

号 8 号
行 役 場
長 一 郎
佐 呂 間 町 行 船 長 有 義
佐 呂 間 町 編 集 所
総 務 課 長 柳 一 郎
佐 呂 間 町 印 刷 所

町民感激の裡に佐呂間高等学校

独立校舎の落成祝賀武典挙行

佐呂間町民著しく希望して、充滿する町民の誠意を思ひ、やまなかつた佐呂間高等学校、校独立校舎の落成祝賀会は、去る六月十五日梅雨しとしと降る裡に町内外官民約二百余名参列のもとに盛大に挙行されました。佐呂間高等学校は昭和二十三年十月、遠軽高等学校の分校として設置、佐呂間中学校に併置され、ついで昭和廿六年四月、佐呂間高等学校として独立、爾來着着として内容の充実に多大なる努力が払はれて来たのであります。如何せん独立校舎なく、飯俣の不自由不便のため、且つ僻地に定住する住民にも都市住民と同様に文化的な生活を営む様に育まざるは、少くとも高等教育までは、総べて享受出来る様施設を要するものと、町民全体が希求した結果が今日のこの喜悅の現はれとなつた次第であります。

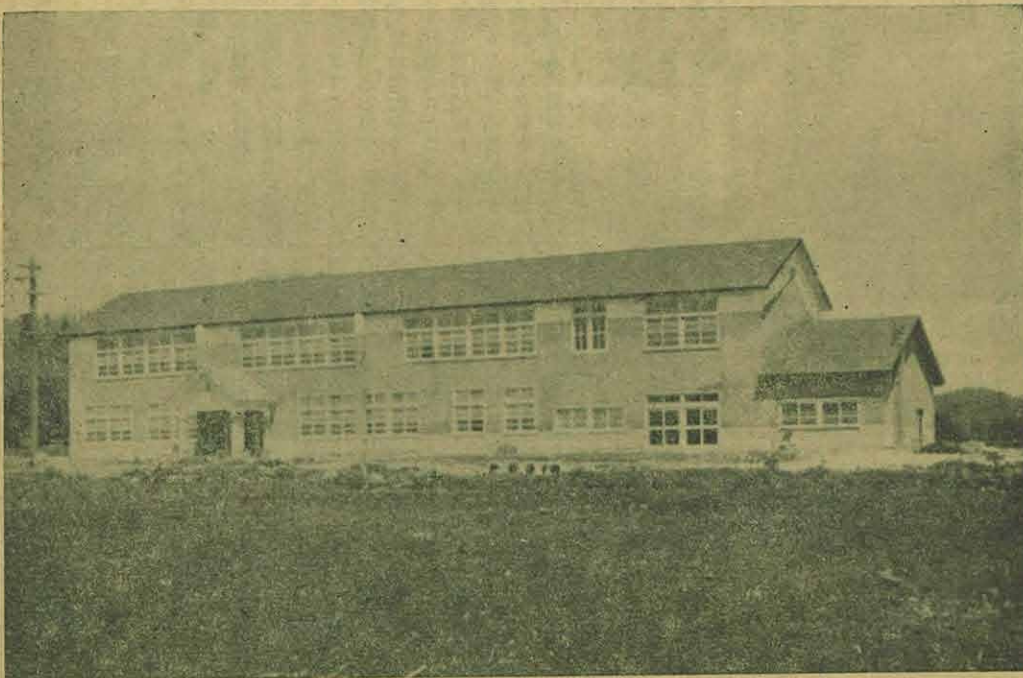
式 辞

新緑陽に映ゆる今日のよき日、茲に佐呂間高等学校の新校舎として孤島の声を上げ、装なり町内外の關係者の方方をお招き申し上げ、落成式典を挙行致します。ことは、私の最も喜びとするところであります。順りみますれば、終戦後の占領政治によつて行、政各般に渡る改革を見ました。特に教育に関しては、軍が主義的の一切の傾向が除去せられ、同時に新教育体制によつて山間僻地に至るまで、高等教育の普遍化を見るに至りました。本校はこの学制改革の趣旨に則り、昭和二十三年十月、北海道遠軽高等学校佐呂間高等学校分校として二代に至る町理事者町

議會全を初め町識者間に於いても向学心に燃ゆる青年の勉学の環境をと、先年来強く呼ばれて参りました。此の間町財政的その他幾多の難関がありました。

町理事者並に議會議員の方方の深い御理解と町民の終始交らざる御協力により、昨秋漸く此の念願が叶ひ、九月工を起し、本日落成の喜びを得るに至つたのであります。

工事施行にあつては困難を極めた敷地問題の解決を始め、町の直管事業として、自から事の陣頭に立ち、細心の努力をばらわられた町理事者に深く敬意を表します。と共に



落成した佐呂間高等学校全景

に町議會並に本校建設資金の調達に特別の御支援を戴きました。方方を初め町民各位の御協力に對し深く謝意を表する次第であります。申すまでもなく、本校建設の趣旨は郷土郷民に適合した教育を通じてより有為な郷土形成者の育成を計り、依て以て明るい郷土の建設を期し、文化的平和国家建設に寄与せんとするものであります。して言はば、本町産業の基盤である農業人としての人格完成を念願とするところに大きな意義をもつものであります。

幸い本春道閣係当局の配慮を得て、農業科昼間季節定時課程増設の認可を得ました。ことは益益本校の特色の確立を明確化したもので、あつて農村青年の育成に全力を傾注し、農業経営を奨励する、明るい郷土佐呂間建設の人材をつくり、以て全町民の附託に應えたい所存であります。

落成校舎は予定計画の一部であつて、今後更に校舎屋体等の増築を必要とするのみならず、内外の整頓整備は、かつて今後にあるわけであります。が、而も尚生徒諸君の勉学の道徳としては、一応満足しなければならぬものと存じます。どうか生徒諸君は深く此点に感銘を新にされて、益益研鑽努力を積み

此の新校舎を仿らいて学ぶ
生徒の殿堂として最も有為
な社会形成者としての完成
を期して載きたいのであり
ます。終りにのぞみ御多忙中
御臨席の栄を賜りました来
賓の皆様は厚く御礼申し上げ
ますと共に何卒本校発展

祝

辞

山野清新の緑に包まれた今
日の佳き日関係御当局を始
め町内有志諸員の御臨席を
いただき茲に待望して止ま
なかつた佐呂間高等学校校
舎落成の式典が挙行され、
町民を代表して筆舌に盡し
難い祝意の一端を申し上げ
ることは私の生涯忘れられ
ない出来事であり誠に
慶賀にたえません

の為に一層の御支援を御願
い致しまして甚だ簡単粗辞
ではありますが一言式辞と
致します。
昭和三十年六月十九日
佐呂間町教育委員会
委員長 大橋与三

処、年次生徒諸君の旺盛な
学究意欲、教育職員各位の
熱意、父兄の理解協力によ
りまして全道帯に見る成果
を収め、越へて昭和二十六
年佐呂間高等学校として独
立し更に本町産業の実情か
ら農業科の新設を要請中の
処、道教育委員会の御理解
と管内選出議員各位の
御支援によりまして本年三
月認可となり地域事情に適
合した科目を具備し生徒数
二百名になん／＼とする現
況であります

工の運びと相成りましたが
独立の資金源困難の折柄町
内有志各位の御支援を受け
特に杉谷安蔵氏村上道蔵氏
山内春芳氏池内寛氏には多
額の財源貸与を受け更に使
用材の殆どが佐呂間菅林署
の御配慮をいただきました
ことを御報告申し上げ御助力
に對し衷心から深く感謝の
意を表する次第で御座いま
す

祝

辞

待する所であります
時勢は日進月歩寸時も停頓
することなく今や社会は高
等普通教育を要求し更に將
来斯くあると推測される
社会情勢下に即応した行政
産業、経済、文化等郷土
の総合発展を諸君が中核と
して積極的指導する責務
を有しており、特に附言し
て置きますことは本町の基
本産業である農業は特殊な
気象及地理的条件下経営の
安定困難な状況にあり然も
之が発展の如何が町全体の
盛衰を左右する重要な要素
を包蔵しておりますので農
業科設置の趣旨をも充分自
覚し今より心して全校生徒
と東協同共に勉学にいそし
み牢固たる校風を遺すべく
一層の御努力を切に乞願ひ
本校の弥栄を祈念して簡単
粗辞ではあります但祝辞と
致します
昭和三十年六月十九日
佐呂間町長 船木長一郎

委員会並びに各関係者の喜
びはいかばかりか胸中をお
察し申し上げ一層感慨無量
のものがあろうと存じ心か
ら御祝い申し上げる次第で
あります
本校の建設も一朝一夕にし
て完成されたものに非ずこ
とに二三年相次ぐ凶作の中
にあり必然的に財政に及
ず影響も大きくこれら町理
事者を如く関係者の之が財
源の確保のために筆舌に盡
し難いものがあつたのであ
ります
殊に農村を以つて自負する
本町周囲の状況かしてこの
方面にむく教育施設の必要
性を痛感して居つた訳であ
ります。が過般現在の普通科
の外に新に農業課程が本年
四月より道当局の認むるこ
ころにより設置されたので
あります
想えば昭和二十三年佐呂間
高等学校が設置され高等教
育が始められてより茲に七
年生徒諸君に於かれてはい
か程独立校舎の実現を待ち
あぐみ且つ将来を夢見辛苦
りゆ／＼として勉学された
ことでありませうか、
本日茲に諸君の期待した町
民全体の誠心あふる偉代
なる贈りものとして独立校
舎が完成したのであります
校舎より湧きいづるものは、
諸君の喜びにわく感動
と町民全体の温い真心であ
ります

校長謝辞

り諸君への激励の声であ
うと存じます
生徒諸君は今日の感激を永
久に忘れることなく一層覚
悟を新にし益々勉学に精励
され佐呂間高等学校生と
しての誇りを堅持し本校に
より学びえた智識技能を充
分活用し町民全体が常に希
求し止まない理想郷佐呂間
町の建設のために活躍せら
れる日の近からんことを切
望するものであります
最後に佐呂間高等学校の落
成を心から御祝い申し上げ
ますとともに将来の御発展
をお祈りし粗辞ではありま
すが祝辞と致します
昭和三十年六月十九日
佐呂間町議会議長 山内春芳
今や萬山緑に彩られ薫風漂
ふ日本校整備計画に基く新
校舎建築第一期工事落成式
を挙行されるに当り北海道
教育委員会総務事務局から
の公務お多端を割かれたの
を御礼を辱う致したのを初
めとし管内高等学校校長殿町
内各代表各位の多数来賓の
御貴臨を頂き又本校後援会
関係各位のお参加おめでとう
ましたことは誠に感激の至
りであります
本校が設立されてこゝに七
ヶ年幸いにも指導当局の御
誘液大方諸賢の御支援町教
育委員会を始めとする町理
事者、挙町の地域社会の御
支援を辱うして一路伸展の
一途を歩み来本校が、今
日二五〇余坪の新校舎の竣
功を得ましたことは誠に感
銘そのものであります
殊に本校舎建設の議起りて
以後の前町長米時治殿及び

となつたことを思い郷土の
与望を痛感して私は感激一
入深き覚悟するのでありま
す想ふに本校の現在並に將
来はこの湖北の純農村地帯
とこれに関連する地帯との
性格に反映するものである
ことは言ふを俟つてもあ
りません
本校が現に持つ本町勤労青
年を対象とする普通課程に
せよ本年新たに設けられた
農業課程にせよ何れも皆こ
の地域の要望に於いて、男
女青年學とに高等普通教育
をなし本町の文化向上産業
の伸展を期せんとするもの
であり、又本校の教育方針
學校目標施設内容がその基
本を此処に置いてこん身の
力を盡していることは勿論
であります
さわい当地域社会の事情
を青年學と諸君の事情から
すれば今後更に本校機能
のより拡大を要望される事
は明かであり然らば又本校
がそれに於いてこそ始めて
当地域に立つ本校機能の発
揮に全きを得られるものと
考へるのであります
斯くてこゝに実現されたる
この新校舎は今後益々その
真価を発揮するものと見ら
れ関係諸君の教育に対する
遠謀遠慮に同感し敬服を禁
じ得ない次第であります
校舎を預り子弟教育の委託
を受けている私は町民各位
ならぬことを心されよ。

の汗になるこの校舎の管理
に萬全を期するは勿論同僚
教職員と共に子弟教育に全
力を傾けたいとするもので
あります
望むらくは生徒諸君、さき
に國際社会の班列に加はり
今や國際場裡に諸外國と相
位して伸展せんことを企図
する我國はその責務を果す
ため幾多の荆棘の苦難があ
り決して國民の安易感を許
さないものであります
この苦難を切り開き光りあ
らしめる將來を荷負する者
は生と諸君の如き激らつ清
新の若人であります
宜しく最善を盡して内、自
らが己の短を補ひ長を伸す
ために研鑽これ努め、外
師長先輩の指導誘掖を謙虚
以てよくこれを受け入れ日
日新なる自己創造に邁進
されよ。
海細流を揮はず故にその大
ななし山嶺を捨てざるが故
にその高きをなすが如く小
成に安んじ易しきにつくこ
となく己を育て己を養ふも
のあらば採つて以てこれを
摂取するに決して吝であ
つてはならない。
あくまでも若人らしき大望
を抱き若人らしき理想を追
つて精進奮闘を続けられよ
高き上に必ず低きより
始める如く、何事も堅実な
る卑近の一步から始めねば
きたぬことを心されよ。

諸君を包む社会地域の目の
あたり見ゆる温情に感じ諸
君にかけられる郷土の興望
を思い明日の郷土を建設す
る輝く使命に自奮自勵して
佐呂間高等学校生徒として
の清新篤実なる真面目を発
揚されよ
私はよき協力者たる同僚教
職員の力に俟ち信愛する生
と諸君と共に此の佐呂間高
等學校の学びやをして郷土
建設の光榮ある殿堂たらし
めるべきく揮身の努力を傾
け今日の感激に込めたいと
衷心より念願してやまない
ものであります
今後共に大方の御鞭撻と御
芳配を懇願申上げる次第で
あります
以上感謝以て聊か所信を述
べて御挨拶といたします
昭和三十年六月十九日
夏健康を守りませう
夏は健康を守りませう
蠅は病気になるバイ菌を運
びます。
蠅を徹底的に殺しましょう
もうそろそろお夕飯です、
みんな手を洗つて
たのしく食卓につきましよう
生水なまもの、寝冷え飯暴
食は
赤痢になるもとになります
不潔なお台所は蠅が出ます
お台所は。
いつもきれいに整頓して
蠅が入らないよう工夫しま
しう。
一匹の蠅を殺すことは、
後の蠅を全滅すること
赤痢の予防を約束します。
皆んなで一匹でも多く蠅を
取りませう。
文化の尺度は砂糖より石け
んの消費量です。
きたない爪や手には赤痢や

フスが流行します。
必ず予防接種を受けて予防
しましょう。
夏は食物がくさりやすく食
物に蠅がつきます
食中毒や赤痢にならないよ
うに
くさりかけた食物や蠅のつ
いた食物は食べないように
しませう。
運動会お祭には食物に注意
して悪い病気になるないよ
うにしませう。
原因のわからない発熱や下
痢のある時はすぐ近くの病
院でよく見て貰いませう。
これから腸チフス、パラチ
マせう。

今後の農作物管理上注意
すべき事項について
農家の皆さん 毎日御苦労
様です
各種農作物の管理について
は長期予報等によりそれぞ
れ最善を盡していることと
思いますが自然の悪天候も
皆さんの適切な管理によつ
てその被害を最少限度に防
ぐことが出来るのでありま
すから今後とも農業改良
相談所と密接に連絡し農作
物管理に萬全を期して下さい
以下支庁に於て開催された
農産會議の際の網走測候所
の長期予報その他資料に基
き農業試験場斉藤技師の農
作物管理についての注意を
載せましたので参考として
下さい
△水稻 直播田の幼穂分け
時期は七月十五日ごろか
ら八月二十日ごろ、移植田
は七月十日から同十五日こ
ろの見込みで低温の日は必
らず予防接種を受けて予防
しましょう。
夏は食物がくさりやすく食
物に蠅がつきます
食中毒や赤痢にならないよ
うに
くさりかけた食物や蠅のつ
いた食物は食べないように
しませう。
運動会お祭には食物に注意
して悪い病気になるないよ
うにしませう。
原因のわからない発熱や下
痢のある時はすぐ近くの病
院でよく見て貰いませう。
これから腸チフス、パラチ
マせう。

管内七月の長期予報
(網走測候所発表)
オホーツク海高気圧はやや
強く梅雨型の気圧配置が強
くなりませう。
しかしこの気圧配置も中旬
から下旬にかけて次第に解
消し夏型の配置となりまし
う。
従つて天気は上旬から中旬
にかけてぐづつき沿岸では
霧の日が多く下旬は一般に
夏らしい晴天が続きます

行ふこと秋まき麦類は従来
收穫遅延から穂発芽の恐れ
があるので従来より約七日
ほど早刈りを行うことで出
穂後三十日くらいが收穫適
期である早刈りしても決し
て品質は落ちない。
青えん豆は七月下旬から八
月上旬ごろが收穫適期。ビ
ートは輸入品種の作付が大
部分であり病害抵抗品種で
あるというところから薬剤
防除をしない農家もあるが
今年のような天候ではガッ
パン病発生懸念があるの
で二回以上の薬剤散布を行
うこと、亜麻の收穫適期は
播種後九十日以内に抜き取
りを行うこと。
以上

病害虫発生予報第二号

病 害
一、種熱病
六月下旬より七月気象予想より考察して稲作地帯に於ては昨年のような少々の発生は考えられずおおむね平年並か稍多発生を示すものと思はれる六月中旬来より下旬の梅雨型の降雨と稍高目の気温により初発生並に当初の発生量は平年並(七月上旬来)となりところによつては蔓延をみる恐れもあるから常発地帯では警戒を要します。

二、馬鈴薯疫病
六月七日の気象予報より考察して初発期は平年並(七月上旬来より中旬)の見込で当初の発生量は中旬梅雨あけの降雨によつてかなり変化があらうな昨年より減少発生はいない見込です。

害 虫
一、イネゾウ虫
近年低温に経過しているために越冬せし虫数は少なくなつてきていると考えられ本年も昨年と同様の発生量と考えられる従つて全般的には発生量は僅少であらう二オオニシユウヤボンテンイウ虫

行事表

近年や増加の傾向にあつたが昨年は低温のためか平年並の発生量で特に当町は僅少であつた本年の六月七日の気象予報よりみて昨年

以上の発生が予想される、せい虫の発生量被害は越冬せい虫数によつて左右される様であるから初発生期徹底した防除を行うことが望ましい
(次号につづく)

五月二十五日
六月二七日

五月
二五日 春季消防演習才一分団
二六日 〃 才二分団
〃 網走中部海漁業調整委員選挙会
於委員室 常呂町高田良一氏当選
二七日 身体障害者更生診療及相談
於 国保病院 商工会役員会 於委員室
二八日 警防事務打合せのため船木町長遠軽町え
三〇日 防犯協会役員会出席のため船木町長遠軽町え
三〇日 〃 三十一日 水産事務担当会議出席のため大橋書記 秋元水産技術普及員 網走市え
三〇日 〃 六月一日 全町に亘り春の清掃指導実施
六月
三日 日赤募金打合会議
民生委員協議会 青色申告説明会開催

一四、一五、昭和三十年
度起債計画審査のため
士田助役、有川課長網走市
え
一五、町内佐呂間、知来
仁倉、浜佐呂間、富武士各
小中学こ運動会
一六、一八、全道清掃大
会出席並びに知事表彰状受
賞のため士田助役、中村主
事、坂上衛生組合長外一名
旭川市え
一七、佐呂間商工会役員
会開催
一六、一八、ぜん道議長
会総会出席のため山内議長
札幌市え
一八、町内二級国道改良
打合せのため船木町長網走
市え
一九、二二、教いく長会
議出席のため幸松主事札幌
市え
一九、故栄町長一周忌法
要 於正法寺
佐呂間高等学こう舎落
成式
二一、二二、戸籍事務連
合協議会出席のため中村
主事釧路市え
二一、二二、地区税務協
議会出席のため仲川課長
北見市え
二二、日赤募金映画会開
催 於仁倉
二三、文教施設つ補助申
請打合せのため士田教いく

長、幸松主事網走市え
二三、町貸付牛管理共励
会 於浜佐呂間
二四、〃 於種馬所
二五、戦死者招魂祭実施
素人のど自慢大会、柔道、
剣道大会開催
二六、二九、昭和三十年
度公営住宅けんせつ計画打
合会議出席のため佐藤課
長、上城手札幌市え
二七日 新任小島網走支庁
学こうと変更いたします

佐呂間中学校生徒作品

「短 歌」

ざくざくと草刈る鎌の音がして
父は茂の中に居るらし
クローバーの上に寝ころぶ童子たちと
ペンペン草の小さい音きく
風呂をたく冷たき土間に腰おろし
窓を見つめて西日輝く
北海の湖広く晴れ渡り
船をそき出る波しづき
佐呂間の夕日消しつづ波ざりて
その後ごしに海を彩る
夜おそく帰て見れば母優し
静かに針を運びいる
久々に友の便りを手にとりて
変らぬくせを懐しく想う
父親のしわのよりたる顔見れば
過去の苦勞を我に思わす
窓の上に咲きみだれたる百合の花
ゆかしき香りただいにけり
試験後の気はすがすがし青空に
軽くうすき雲を見る
評 子等と詠み窓遙かなる学び舎に
緑濃くなる雄々しき山々
指導者 佐藤 きみ

●あとかぎ●
△本月号は去る六月十五日
挙行の高等学舎の落成記
念祝賀式の感激の模様を皆
様に知らせたく存じ
その大半を費して仕舞いま
した。
文化の根源を為すものはな
んと云つても普遍的な教育
の徹底を期することなく
てはならぬと信じますよつ
て鮮地の吾が佐呂間町高等
学校の学舎が独立しこで
大いにべん強に精勵し人格
の陶冶を期し明るい希望に
輝く佐呂間のけんせつが
築かれるとするならばこの
上ない收穫と喜びはないと
思います。冷害凶作に悩ま
され経済的にも致命的打撃
を受けても尚且次代を担う
若人青年男女のべん学修養
のためには何物をもおしま
ないといふ本町の親心であ
ります。
△見るにつけ聞くにつけ吾
人の頭の中にあるものは一
種年である様に……と
只それのみで一杯でありま
す又水田の稲のあのびびり
一切がすくすくと生長して
行く様に年々豊かになり
感激に溢れる年が訪れる感
じを抱く昨今です、最近の
暑さを思い出してもここ二
三年の更らしい気分が漲
つて居ります
農民の皆様いや町民の皆様
行手はなかなか困難であり
心配ではありませうがどう
かしよう来えの大きな希望
を持つて大いに頑張つて下
さい、誠意を盡す者には決
して天は、神仏は見殺しに
する様な事はありません健
康に充分注意して安心して
来るべき幸福のために一生
懸命になりませう